

I. 事業の計画

1. 基本方針

- ①平成23年度は移行認定申請前の最終年度であり、定款の変更の案および細則改訂案ならびに申請書類一式を準備すると共に、移行後公益認定取消しにならないよう、庶務、会計および各事業の重要な課題の再抽出とその対策を完了する。
- ②第4期科学技術基本計画初年度であり、材料分野の重要な研究課題の抽出とそれに基づく研究開発を材料系学協会と連携して推進する。
- ③講演大会事業について、その新しいあり方について、秋期沖縄大会で試行する。
- ④本会の事業及び運営のさらなる効率化と必要な適正規模化を推進する。
- ⑤法令に基づき本会のセルフガバナンスを継続して推進する。
- ⑥平成24年の75周年事業については、必要最小限とする。

2. 会誌その他図書類の刊行(定款第3条第1号)

(1) 日本金属学会会報「まてりあ」

①発行年月日	巻 号	発行部数	掲載頁数
平成23年 3 月 1 日	第50巻 3 号	8,000部	50頁
平成23年 4 月 1 日	第50巻 4 号	8,000部	50頁
平成23年 5 月 1 日	第50巻 5 号	8,000部	50頁
平成23年 6 月 1 日	第50巻 6 号	8,000部	50頁
平成23年 7 月 1 日	第50巻 7 号	8,000部	50頁
平成23年 8 月 1 日	第50巻 8 号	8,000部	50頁
平成23年 9 月 1 日	第50巻 9 号	8,000部	50頁
平成23年10月 1 日	第50巻10号	8,000部	50頁
平成23年11月 1 日	第50巻11号	8,000部	50頁
平成23年12月 1 日	第50巻12号	8,000部	50頁
平成24年 1 月 1 日	第51巻 1 号	8,000部	50頁
平成24年 2 月 1 日	第51巻 2 号	8,000部	50頁

②特集等

- ・ミニ特集：第50巻 4 号 「熱を電気に直接変換」熱電変換材料の現状と将来像 第1分科 21頁
第50巻 7 号 「腐食・防食技術の最前線」第2分科 21頁
第50巻 9 号 「磁性材料分野における脱希少元素の試み」第3分科 21頁
- ・新技術・新製品特集：第50巻 3 号、第51巻 1 号～2 号 11編 33頁

(2) 日本金属学会誌

①発行年月日	巻 号	発行部数	掲載頁数
平成23年 3 月 1 日	第75巻 3 号	1,500部	60頁
平成23年 4 月 1 日	第75巻 4 号	1,500部	60頁
平成23年 5 月 1 日	第75巻 5 号	1,500部	60頁
平成23年 6 月 1 日	第75巻 6 号	1,500部	60頁
平成23年 7 月 1 日	第75巻 7 号	1,500部	60頁
平成23年 8 月 1 日	第75巻 8 号	1,500部	60頁
平成23年 9 月 1 日	第75巻 9 号	1,500部	60頁
平成23年10月 1 日	第75巻10号	1,500部	60頁
平成23年11月 1 日	第75巻11号	1,500部	60頁
平成23年12月 1 日	第75巻12号	1,500部	60頁
平成24年 1 月 1 日	第76巻 1 号	1,500部	60頁
平成24年 2 月 1 日	第76巻 2 号	1,500部	60頁

電子ジャーナル：毎号冊子体と同時に600部発行

②特集等

- ・特集：第75巻 3～4 号 秋期大会講演論文 20編程度
第75巻掲載号未定 スマートマテリアル 10編程度
第75巻 9～10号 春期大会講演論文 20編程度

(3) Materials Transactions

①発行年月日	巻	号	発行部数	掲載頁数
平成23年 3 月 1 日	Vol. 52	No. 3	800部	200頁
平成23年 4 月 1 日	Vol. 52	No. 4	800部	200頁
平成23年 5 月 1 日	Vol. 52	No. 5	800部	200頁
平成23年 6 月 1 日	Vol. 52	No. 6	800部	200頁
平成23年 7 月 1 日	Vol. 52	No. 7	800部	200頁
平成23年 8 月 1 日	Vol. 52	No. 8	800部	200頁
平成23年 9 月 1 日	Vol. 52	No. 9	800部	200頁
平成23年10月 1 日	Vol. 52	No. 10	800部	200頁
平成23年11月 1 日	Vol. 52	No. 11	800部	200頁
平成23年12月 1 日	Vol. 52	No. 12	800部	200頁
平成24年 1 月 1 日	Vol. 53	No. 1	800部	200頁
平成24年 2 月 1 日	Vol. 53	No. 2	800部	200頁

電子ジャーナル：毎号冊子体と同時に400部発行

②特集等

- 特集：Vol. 52 No. 3～4 Selected Papers from JIM Fall Meeting 20編程度
- Vol. 52 No. 3 New Trends for Micro- and Nano Analyses by Transmission Electron Microscopy 15編程度
- Vol. 52 No. 4 Advanced Materials for Hydrogen Energy Applications 15編程度
- Vol. 52 No. 5 Aluminum Alloys 2010(軽金属学会企画) 10編程度
- Vol. 52 No. 6 Platform Science and Technology for Advanced Magnesium Alloys, V 20編程度
- Vol. 52 No. 9～10 Selected Papers from JIM Spring Meeting 20編程度
- Vol. 53 No. 1 Advanced Materials Science in Bulk Nanostructured Metals 30編程度
- Vol. 52 掲載号未定 Titanium Alloys 20編程度
- Vol. 52 掲載号未定 Severe Plastic Deformation 20編程度

(4) 学術図書類

増刷 2冊

- 金属化学入門シリーズ第2巻鉄鋼製錬 2000部
- 金属化学入門シリーズ第3巻金属製錬工学 2000部

3. 講演会の開催(定款第3条第2号)

(1) 講演大会

①講演大会委員会 平成23年 7 月, 11月 9 日および平成24年 1 月

- a. 春秋講演大会のプログラム編成 平成23年 7 月および平成24年 1 月
- b. 講演大会に関する企画および運営の協議

②春期(第148回)大会

平成23年 3 月25日から27日 東京都市大学世田谷キャンパス(東京都世田谷区)

- a. 講演発表件数 1,039件(予定)
- b. 大会参加者数 1,800人(予定)
- c. 講演内訳
一般講演, 公募シンポジウム, ポスターセッション,
日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション(3 テーマ),
受賞・推戴記念講演(第56回学会賞, 第56回本多記念講演, 第69回功績賞, 第50回谷川・ハリス賞, 第17回増本量
賞, 第52回技術賞, 外国人名誉員推戴記念講演), 外国人特別講演, TMS Young Leader International Scholar 講演
- d. 男女共同参画ランチョンミーティング
- e. 金属組織写真賞作品展示
- f. 講演概要集 A4 版600頁, 2,000部, 平成23年 3 月25日発行
- g. 付設展示会 機器展示およびカタログ展示

③秋期(第149回)大会

平成23年11月 7 日から 9 日 沖縄コンベンションセンター他(沖縄県宜野湾市)

- a. 講演発表件数 1,200件(予定)
- b. 大会参加者数 1,800人(予定)
- c. 講演内訳

一般講演, 公募シンポジウム, ポスターセッション,
受賞記念講演(第34回技術開発賞, 第8回村上記念賞, 第9回功労賞, 第9回学術貢献賞)
奨励賞および村上奨励賞受賞者のポスター発表開始

d. 第9回 World Materials Day Award 展示

e. 第12回 KIM/JIM Joint Symposium 本会10件, KIM 10件(予定)の講演発表

f. 講演概要集 A4版600頁, 2,000部, 平成23年11月7日発行 電子媒体での刊行

g. 付設展示 機器展示およびカタログ展示

(2) 分科会シンポジウム(2件)

①バイオメタルサイエンス研究の最前線

平成23年3月24日 東京(東京医科歯科大学) テキスト200部

②環境・医療・IT 調和型デバイス及び材料の最前線

平成23年9月 東京(予定) テキスト200部

(3) セミナー(2件)

①バルクナノメタル 構造用金属材料の新たな可能性

平成23年3月17日 東京(京大東京オフィス) テキスト200部

②高温過酷環境を制する耐食材料/コーティングのさらなる挑戦

平成23年11月 東京(予定) テキスト200部

(4) 支部講演会および講習会(日本鉄鋼協会等他学協会との共催を含む)

①北海道支部 ②東北支部 ③関東支部 ④東海支部 ⑤北陸信越支部 ⑥関西支部 ⑦中国四国支部 ⑧九州支部

(5) 国内学協会共催講演会

(6) 国際会議および国際シンポジウム

①JIMIC8(マルテンサイト変態国際会議 ICOMAT-2011)本会主催

平成23年9月4日～9日 千里阪急ホテル(大阪府豊中市)

②JIMIS11(第12回工業材料と構造物のクリープと破壊国際会議 Creep2011) 本会主催

平成23年5月22日～27日 京都テルサ(京都市)

4. 研究および調査(定款第3条第3号)

(1) 研究会(継続10テーマ, 新規3テーマ)

継続テーマ 54. ナノプレーティング研究会

57. 変位型相変態を利用した構造・機能性材料研究会

58. 機能性ポーラス材料研究会

59. 機能性チタン合金研究会

60. 格子欠陥制御工学研究会

61. 核融合システム・材料統合研究会

62. 励起反応場を用いた低次元ナノ材料創成研究会

63. 計算材料科学研究会

64. 触媒材料研究会

65. 高温強度と組織形成の材料科学研究会

新規テーマ 66. 熱電変換材料研究会

67. 結晶と組織の配向制御による材料高性能化研究会

68. シンクロ型 LPSO 構造研究会

(2) 分科会活動

①分科会委員会 平成23年3月24日 平成22年11月6日 計2回

②分科会企画委員会 平成23年7月 平成24年1月 計2回

③セミナー・シンポジウム委員会 平成23年7月 平成24年1月 計2回

④第1分科, 第2分科, 第3分科, 第4分科, 第5分科, 第6分科の活動 随時

(3) 委員会活動

①企画委員会 ⑤科研費委員会

②国際学術交流委員会 ⑥男女共同参画委員会

③セルフガバナンス委員会 ⑦技術者教育認定制度等委員会

④長期展望委員会

(4) 支部研究会活動

(5) 国内学協会連携活動

- ①日本学術会議
- ②日本工学会
- ③材料戦略委員会 2回 材料戦略企画委員会 2回
- ④金属材料系学協会連携協議会 平成23年 3 月
- ⑤技術者教育制度認定等委員会
- ⑥全国大学材料関係教室協議会 平成23年 3 月
- ⑦エコデザイン学会連合運営協議会
- ⑧男女共同参画活動

(6) 国際学協会連携活動

- ①IOMMMS(International Organization of Materials, Metals & Minerals Societies)
 - ・第 9 回 World Materials Day 平成23年11月 3 日
 - ・World Materials Day Award Winner 表彰 平成23年11月 3 日
- ②大韓金属・材料学会(KIM)
 - ・年次総会へ相互に代表を派遣
 - ・第12回 KIM-JIM シンポジウム 電子顕微鏡と材料研究への応用(仮題)
本会主催で平成23年11月秋期講演大会時に開催
- ③TMS
 - ・TMS 年次大会に本会代表を派遣
 - ・JIM/TMS Young Leader International Scholar Program 交流
- ④中国金属学会(CSM)
 - ・国際会議共催等の検討

5. 見学および視察(定款第 3 条第 4 号)

- (1)講演大会時見学会 (2)支部主催見学会

6. 表彰および奨励(定款第 3 条第 5 号)

(1) 名誉員および各種賞授賞者等の選考委員会

選 考 委 員 会	開催数	備 考	選 考 委 員 会	開催数	備 考
名誉員検討委員会	1	第57回授賞選考	まてりあ賞選考委員会	1	第1回授賞選考
学会賞選考委員会	1		技術開発賞選考委員会	1	第34回授賞選考
各種賞検討委員会	4	第70回授賞選考	奨励賞選考委員会	1	第21回授賞選考
功績賞選考委員会	1		功労賞選考委員会	1	第 9 回授賞選考
谷川・ハリス賞選考委員会	1	第51回授賞選考	学術貢献賞選考委員会	1	第 9 回授賞選考
増本量賞選考委員会	1	第18回授賞選考	村上記念賞選考委員会	1	第 8 回授賞選考
技術賞選考委員会	1	第53回授賞選考	村上奨励賞選考委員会	1	第 8 回授賞選考
学術功労賞選考委員会	1	第13回授賞選考	優秀ポスター賞選考委員会	2	第16, 17回授賞選考
研究技術功労賞選考委員会	1	第43回授賞選考	若手講演論文賞選考委員会	2	第14, 15回授賞選考
金属組織写真賞選考委員会	1	第62回授賞選考	奨学賞選考委員会	1	第19回授賞選考
論文賞選考委員会	1	第59回授賞選考			
他機関の各種学術賞, 奨励金等推薦					

(2) 支部表彰事業

7. 金属博物館の設置運営(定款第 3 条第 6 号)

8. 諮問に応じまたは建議をすること(定款第 3 条第 7 号)

- (1) 新公益法人制度への要望および提言
- (2) 政府行政刷新会議等への要望および提言

9. 前各号の外本会の目的達成に必要な事業(定款第 3 条第 8 号)

処務の項に記載

II. 処務の計画

1. 特記事項

- ①移行認定申請のための定款の変更の案、細則の改訂案および各種申請書類の準備を完了する。
- ②①の推進において、庶務、会計および各事業の課題を再抽出し、規程、規則および内規の整備等その対策を実施する。
- ③移行認定申請に備えて、移行後の最初の代議員の選挙規程を整備し、移行後の最初の代議員の選挙を実施する。
- ④上記の移行認定のためのすべての書類は平成24年度通常総会で協議する。
- ⑤文部科学省に提出している定款変更の事前審査結果に、適切に対応する。
- ⑥秋期講演大会を例年より遅く11月に実施するため、臨時社員総会は秋期講演大会とは別開催とする。

2. 平成23年度事業に関わる諸会議および諸集会

(1) 本会単独事業

法定機関および任意の合議機関の諸会議	開催回数	法定機関および任意の合議機関の諸会議	開催回数
社員総会(通常1回, 臨時1回)	2	セルフガバナンス委員会	2
理事会	8	分科会委員会	2
監事監査	2	分科会企画委員会	2
評議員会(文書)	4	戦略推進委員会	2
会報編集委員会	6	科研費委員会	6
会誌編集委員会	6	技術者教育認定制度等委員会	0
欧文誌編集委員会	6	男女共同参画委員会	2
学術図書刊行委員会	1	国際学術交流委員会	2
講演大会委員会	2	名誉員検討委員会	1
本多記念講演運営委員会	1	学会賞選考委員会	1
セミナー・シンポジウム委員会	2	各種賞検討委員会	4
企画委員会	2	功績賞等各賞の選考委員会	20
長期展望委員会	2	支部会議	16

諸 集 会	開催回数
名誉員推戴式	1
各賞贈呈式	20
講演大会	2
分科会シンポジウム	2
セミナー	2
研究会(研究集会)	13
金属組織写真展示	1
World Materials Day Award 展示	1
支部講演会	24

特記事項

- ①法定機関
 - ・臨時社員総会は、秋期講演大会とは別開催とする。
 - ・監事会は、昨年度から開始した上期監査を継続する。
 - ・理事会のセルフガバナンスをさらに推進する。
- ②任意の合議機関
 - ・各事業の委員会の必要な内規類の整備を推進する。
 - ・すべての支部の規程を制定する。

(2) 他学協会等連携事業

諸 会 議	開催回数	諸 会 議	開催回数
Materials Transactions 共同編集委員会	1	材料連合講演大会	1
材料連合協議会	1	男女共同参画学協会連絡会シンポジウム	1
金属材料系学協会連携協議会	1	エコデザイン学会連合シンポジウム	1
材料戦略委員会	2	工学教育連合講演会	1
材料戦略企画委員会	2	奨学賞贈呈式	1
男女共同参画合同委員会	2	World Materials Day Award Winner 授賞式	1
IOMMMS Council Meeting	1		

平成23年度収支予算書

平成23年3月1日から平成24年2月29日まで

(単位：円)

科	目	予 算	額	前 年 度 予 算	額	増 減	備 考
I	一般正味財産増減の部						
1.	経常増減の部						
(1)	経常収益						
	基本財産運用益	210,000		210,000		0	
	基本財産受取利息	210,000		210,000		0	国債、定期
	特定資産運用益	23,604,000		22,972,000		632,000	
	特定資産受取利息	23,604,000		22,972,000		632,000	国債、定期
	国際学術交流資金	1,734,000		1,734,000		0	
	学会賞資金	26,000		26,000		0	
	谷川・ハリス賞資金	255,000		255,000		0	
	研究技術功労賞資金	119,000		119,000		0	
	奨励賞・奨学賞等資金	851,000		851,000		0	
	増本量賞資金	595,000		595,000		0	
	村上賞資金	1,937,000		1,910,000		27,000	国債の償却原価法適用開始
	刊行事業資金	6,390,000		6,190,000		200,000	
	講演会・講習会事業資金	20,000		0		20,000	
	国際会議開催資金	1,632,000		1,630,000		2,000	国債の償却原価法適用開始
	調査・研究事業資金	8,292,000		7,850,000		442,000	国債の償却原価法適用開始
	表彰・奨励事業資金	1,050,000		1,050,000		0	
	刊行事業準備資金	0		28,000		-28,000	
	刊行事業危機管理準備資金	3,000		14,000		-11,000	
	国際会議開催支援準備資金	1,000		5,000		-4,000	
	退職給付引当資産	696,000		690,000		6,000	
	減価償却引当資産	3,000		25,000		-22,000	
	受取入金	200,000		200,000		0	
	受取入金	200,000		200,000		0	@1,000円×200名
	受取会費	103,260,000		106,550,000		-3,290,000	
	正員受取会費	45,780,000		47,394,000		-1,614,000	5,025名、新入会(査定200名)
	学生会受取会費	5,920,000		6,094,000		-174,000	1,008名、新入会(査定300名)
	維持員受取会費	48,500,000		50,535,000		-2,035,000	255社
	外国会員受取会費	3,060,000		2,527,000		533,000	一般230名、学生124名
	事業収益	109,320,000		114,392,500		-5,072,500	
	刊行事業収益	73,800,000		76,488,000		-2,688,000	
	会報購読費収益	2,100,000		2,037,000		63,000	非会員販売
	会誌購読費収益	10,220,000		9,914,000		306,000	一般600名、学生30名、その他120名
	欧文誌購読費収益	12,420,000		12,047,000		373,000	一般・学生560名、その他150名
	会報別刷収益	2,380,000		1,440,000		2,420,000	申込(月平均5編、カラー月2頁)
	会誌別刷・審査収益	8,310,000		9,070,000		-760,000	申込(月平均10編)
	欧文誌別刷・審査収益	26,770,000		29,790,000		-3,020,000	申込(月平均40編)
	刊行事業広告収益	4,810,000		6,750,000		-1,940,000	会報、会誌、欧文誌
	講座・現代の金属学収益	3,150,000		2,580,000		570,000	既刊
	金属化学入門シリーズ収益	2,910,000		2,180,000		730,000	既刊
	単行本収益	730,000		680,000		50,000	既刊
	講演会・講習会事業収益	33,040,000		34,597,000		-1,557,000	
	講演大会参加費収益	15,540,000		17,220,000		-1,680,000	春期・秋期大会
	講演概要集収益	9,550,000		10,350,000		-800,000	〃 〃
	講演大会懇親会参加費収益	1,000,000		1,100,000		-100,000	春期・秋期大会
	分科会シンポジウム参加費収益	900,000		450,000		450,000	2テーマ(一般40名、学生10名)開催
	分科会シンポジウム予稿集収益	80,000		60,000		20,000	新刊、既刊
	セミナー参加費収益	1,060,000		530,000		530,000	2テーマ(一般40名、学生10名)開催
	セミナーテキスト収益	150,000		150,000		0	新刊、既刊
	講演会・講習会事業広告収益	1,660,000		2,420,000		-760,000	概要集、付設展示会、その他
	支部講演会・講習会事業収益	2,300,000		1,517,000		783,000	
	講演会・講習会事業委託収益	800,000		800,000		0	支部開催本多記念講演会
	調査・研究事業収益	50,000		0		50,000	
	調査・研究事業収益	30,000		0		30,000	
	支部調査・研究事業収益	20,000		0		20,000	
	表彰・奨励事業収益	2,430,000		3,307,500		-877,500	
	審査・投稿料収益	2,430,000		3,307,500		-877,500	新技術・新製品(11件33頁)
	受取負担金	95,000		95,500		-500	
	受取負担金	95,000		95,500		-500	支部事業他の団体より
	雑収益	1,489,000		1,816,500		-327,500	
	受取利息	14,000		41,500		-27,500	普通預金
	雑収益	1,200,000		1,500,000		-300,000	印税、著作権使用料、その他
	支部雑収益	275,000		275,000		0	その他
	経常収益計	238,178,000		246,236,500		-8,058,500	

科	目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
(2) 経常費用					
事業費		171,892,000	172,694,200	-802,200	
	刊 行 事 業 費	102,505,000	107,007,000	-4,502,000	
	給料手当	24,354,000	23,535,000	819,000	事業費配賦給料手当 (45%)
	退職給付費用	3,645,000	3,617,000	28,000	事業費配賦退職給付費用 (45%)
	福利厚生費	3,636,000	3,320,000	316,000	事業費配賦福利厚生費 (45%)
	会報刊行費	24,850,000	25,070,000	-220,000	月号平均50頁、8,000部
	会誌刊行費	12,320,000	13,520,000	-1,200,000	月号平均60頁、1,500部
	欧文誌刊行費	31,200,000	34,400,000	-3,200,000	月号平均200頁、800部
	学術図書類刊行費	2,500,000	3,545,000	-1,045,000	増刷2冊
	講 演 会 ・ 講 習 会 事 業 費	45,596,000	42,457,300	3,138,700	
	給料手当	13,530,000	13,075,000	455,000	事業費配賦給料手当 (25%)
	退職給付費用	2,025,000	2,010,000	15,000	事業費配賦退職給付費用 (25%)
	福利厚生費	2,020,000	1,845,000	175,000	事業費配賦福利厚生費 (25%)
	講演大会開催費	17,860,000	17,375,000	485,000	秋期沖縄開催、公募シンポジウム含む
	講演大会懇親会費	1,100,000	0	1,100,000	春期・秋期大会時開催
	本多記念講演開催費	150,000	150,000	0	1回開催
	分科会シンポジウム開催費	1,100,000	585,000	515,000	2テーマ開催
	セミナー開催費	1,600,000	810,000	790,000	2テーマ開催
	国際会議開催費	550,000	1,090,000	-540,000	KIM-JIMシンポジウム、PRICMS、その他
	支部講演会・講習会開催費	5,661,000	5,517,300	143,700	支部講演会、支部本多光太郎記念講演会、その他
	調 査 ・ 研 究 事 業 費	12,176,000	11,871,600	304,400	
	給料手当	2,706,000	2,615,000	91,000	事業費配賦給料手当 (5%)
	退職給付費用	405,000	402,000	3,000	事業費配賦退職給付費用 (5%)
	福利厚生費	404,000	369,000	35,000	事業費配賦福利厚生費 (5%)
	関連団体連携事業費	180,000	180,000	0	日本学術会議、連携協議会、支払分担金含
	日本工学会費	580,000	580,000	0	事務研究委員会、支払分担金含
	材料戦略委員会費	550,000	1,190,000	-640,000	戦略推進委員会費含む
	科研費委員会費	450,000	50,000	400,000	
	技術者認定委員会費	150,000	150,000	0	支払分担金含
	男女共同参画委員会費	300,000	150,000	150,000	支払分担金含
	分科会委員会費	2,350,000	1,477,000	873,000	分科会企画委員会費含む
	研究会費	715,000	845,000	-130,000	研究会13件
	企画委員会費	150,000	150,000	0	長期展望委員会費含む
	セルフガバナンス委員会費	105,000	105,000	0	
	国際学術交流委員会費	1,200,000	1,800,000	-600,000	IOMMS、KIM、TMS、CSM
	支部調査・研究事業費	1,931,000	1,808,600	122,400	
	表 彰 ・ 奨 励 事 業 費	11,615,000	11,358,300	256,700	
	給料手当	2,706,000	2,630,000	76,000	事業費配賦給料手当 (5%)
	退職給付費用	405,000	402,000	3,000	事業費配賦退職給付費用 (5%)
	福利厚生費	404,000	369,000	35,000	事業費配賦福利厚生費 (5%)
	名誉員費	450,000	420,000	30,000	賞状、名誉員章、その他
	学会賞費	900,000	940,000	-40,000	賞状、賞牌、選考委員会費、その他
	各種賞検討委員会費	600,000	466,000	134,000	選考委員会費、その他
	谷川・ハリス賞費	130,000	130,000	0	賞状、賞牌、選考委員会費、その他
	研究技術功労賞費	460,000	460,000	0	〃 〃 〃
	奨励賞・奨学賞等費	710,000	710,000	0	〃 〃 〃
	増本量賞費	430,000	430,000	0	〃 〃 〃
	村上賞費	950,000	920,000	30,000	〃 〃 〃
	功績賞費	250,000	240,000	10,000	〃 〃 〃
	技術賞費	100,000	100,000	0	〃 〃 〃
	学術功労賞費	100,000	100,000	0	〃 〃 〃
	金属組織写真賞費	950,000	950,000	0	〃 〃 〃
	論文賞費	270,000	270,000	0	〃 〃 〃
	技術開発賞費	1,350,000	1,350,000	0	〃 〃 〃
	功労賞費	30,000	30,000	0	〃 〃 〃
	学術貢献賞費	130,000	130,000	0	〃 〃 〃
	支部表彰・奨励事業費	290,000	311,300	-21,300	〃 〃 〃

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
管 理 費	38,462,000	34,846,000	3,616,000	
給料手当	10,824,000	10,460,000	364,000	管理費配賦給料手当（20％）
退職給付費用	1,620,000	1,610,000	10,000	管理費配賦退職給付費用（20％）
福利厚生費	1,616,000	1,473,000	143,000	管理費配賦福利厚生費（20％）
臨時雇賃金	120,000	120,000	0	会費請求書封入、その他
会議費	1,200,000	1,060,000	140,000	理事会、社員総会、その他
旅費交通費	2,800,000	2,620,000	180,000	理事会、社員総会、その他
通信運搬費	1,800,000	1,640,000	160,000	会費請求、その他
減価償却費	400,000	400,000	0	什器備品、ソフトウェア
消耗什器備品費	520,000	520,000	0	小額事務用品購入
消耗品費	600,000	900,000	-300,000	プリンタートナー、コピー用紙、その他
修繕費	100,000	100,000	0	什器備品修理
印刷製本費	500,000	430,000	70,000	理事会、社員総会、会費請求書、その他
光熱水料費	600,000	600,000	0	事務所電気料金、水道料金
賃借料	5,040,000	5,040,000	0	本部事務室、会議室
保険料	42,000	38,000	4,000	火災保険
諸謝金	350,000	350,000	0	団体世話幹事謝礼
租税公課	4,900,000	3,500,000	1,400,000	消費税、法人税、その他
送金手数料	940,000	880,000	60,000	会費振込手数料、銀行送金手数料、その他
システム管理費	750,000	685,000	65,000	管理費配賦システム管理費
委託費	1,260,000	1,260,000	0	公認会計士監査・弁護士費用、その他
雑費	2,480,000	1,160,000	1,320,000	コピー機等リース代、図書購入費、その他
経常費用計	210,354,000	207,540,200	2,813,800	
当期経常増減額	27,824,000	38,696,300	-10,872,300	

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
調査・研究事業準備積立金	0	20,000,000	-20,000,000	
経常外費用計	0	20,000,000	-20,000,000	
当期経常外増減額	0	-20,000,000	20,000,000	
当期一般正味財産増減額	27,824,000	18,696,300	9,127,700	
一般正味財産期首残高	925,920,000	1,168,470,000	-242,550,000	
一般正味財産期末残高	953,744,000	1,187,166,300	-233,422,300	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取利息	5,517,000	0	5,517,000	
一般正味財産への振替額	-5,517,000	0	-5,517,000	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	318,510,000	0	318,510,000	
指定正味財産期末残高	318,510,000	0	318,510,000	
Ⅲ 正味財産期末残高	1,272,254,000	1,187,166,300	85,087,700	

- (注) 1. 収支予算書は、「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)により、損益ベースで作成している。
2. 平成22年度決算において使途を特定した寄付による事業資金は一般正味財産から指定正味財産に振替えます。
3. 平成22年度において特定費用準備金の負債計上を終了します。
4. 借入金限度額 0円
5. 債務負担額 0円

◇ ◇ ◇